## **EUROPEAN PATENT OFFICE**

## **Patent Abstracts of Japan**

PUBLICATION NUMBER

60057210

**PUBLICATION DATE** 

03-04-85

APPLICATION DATE

09-09-83

**APPLICATION NUMBER** 

58166292

APPLICANT: ANRITSU CORP;

INVENTOR:

TSUKASA FUMISUKE;

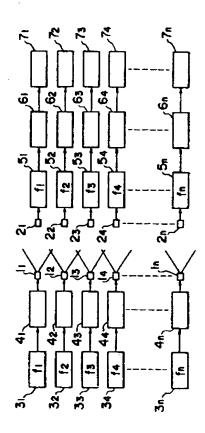
INT.CL.

G01D 5/26

TITLE

PHOTODETECTING DISCRIMINATING

DEVICE



ABSTRACT :

PURPOSE: To discriminate photodetection of paired light even if plural pairs of projectors are provided adjacently, by lighting a diffused light source by different frequencies, and fetching a photodetdcting signal of each photodetector at every frequency by a band pass filter.

CONSTITUTION: A voltage modulated by respective different frequencies f<sub>1</sub>~f<sub>n</sub> is applied to each light source 11~1n, and as for each diffused light, its luminance is varied by respective different frequencies  $f_1 \sim f_n$ . Accordingly, each photodetecting signal becomes an AC signal corresponding to variation of the luminance. However, each photodetecting signal from respective photodetectors 2<sub>1</sub>~2<sub>n</sub> is inputted to band pass filters 5<sub>1</sub>~5<sub>n</sub>, respectively, therefore, only a frequency in the vicinity of f<sub>1</sub>~f<sub>n</sub> is selected, respectively. Therefore, for instance, in case of the photodetecting signal from the photodetector 2<sub>1</sub>, only the photodetecting signal by the paired light sources 1<sub>1</sub> is selected. An output signal of each filter  $5_1$  –  $5_n$  passes through detecting circuits  $6_1$  – $6_n$ , and is stored in storing circuit  $7_1 \sim 7_n$ , when photodetecting from the paired light sources is detected. In this way, photodetection of the paired light sources can be discriminated even if plural pairs of light sources are provided adjacently.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

· ⑲日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭60-57210

@Int\_Cl\_1

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和60年(1985)4月3日

G 01 D 5/26

6781-2F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

❷発明の名称 受光弁別装置

②特 願 昭58-166292

**钞出 願 昭58(1983)9月9日** 

砂発明者 政

文 祐

東京都港区南麻布5丁目10番27号 安立電気株式会社内

⑪出 願 人 安立電気株式会社 東京都港区南麻布5丁目10番27号

の代理 人 弁理士 早川 誠志

明 細 4

1. 発明の名称

受光弁別装置

2. 特許請求の範囲

平面上に配列された複数の受光器と;前記複数の受光器にそれぞれ対向して平面上に配列された複数の拡散光源をそれぞれ契なる周波数で点灯させるための駆動周波数信号を出力する手段と;前記複数の受光器にそれぞれ対応して設けられ、前記それぞれの受光器が、それぞれ対応した前記複数の拡散光源からの前記駆動周波数倍号を受信したときに受光信号を出力する手段とを備えたことを特徴とする受光弁別装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は複数の拡散光源と複数の受光器とをそれぞれ対向して設け、一つの受光器が対をなす光 源以外の光源からの光を受光しても対をなす光原 からの受光を弁別できるようにした装置に関する。 一対の投受光器によって物体の存在を検知するには、一般に投光器として発光ダイオードのような安価を拡散光源を用いている。しかしこのように拡散光源を用いると、第1 図に示すように複数対の投受光器(例えば投光器11、12、13 と受光器21、22、25)を接近して設置した場合、一つの光源の光が複数の受光器に受光されるため、対をなす光源と受光器を結ぶ線上の物体の存在を検知することができなくなる。このため複数別の投受光器を設置する場合、互いに接近して設置することができなかつた。

本発明は複数対の投受光器を接近して設けても 対をなす投光器からの光による受光を抑制できる ようにした受光抑制装置を提供することを目的と している。

以下、図面に示す本発明の一集的例を説明する。 第2図は本発明による受光弁別英雄の一集旗例 を示す回路図である。

同図にかいて $\mathbf{1}_1 \sim \mathbf{1}_n$  は互いに接近して設けられた拡散光原、 $\mathbf{2}_1 \sim \mathbf{2}_n$  はそれぞれ拡散光原

 $1_1 \sim 1_n$  化対向して所定距離をおいて設けられた受光器である。

7

 $3_1 \sim 3_n$  はそれぞれ  $s_1 \sim s_n$  の各界なつた 局波数の交流信号を発生させる発振器、 $4_1 \sim 4_n$ は発振器  $3_1 \sim 3_n$  から出力される交流信号に応 じて各拡散光源  $1_1 \sim 1_n$  に加える電圧の振幅を 変化させる変調器である。

 $5_1 \sim 5_n$  は 名受光器  $2_1 \sim 2_n$  から 出力される 受光信号からそれぞれ  $t_1 \sim t_n$  付近の 財放数の みを 選択通過させるための 帯域 フィルタ、  $6_1 \sim 6_n$  は 奇域 フィルタ  $5_1 \sim 5_n$  で 選択された 周 故 放成分の 電圧を 検知する ための 検波 回路  $5_1 \sim 7_n$  は 校 放 回路  $5_1 \sim 6_n$  によって 談 当 する 周 改 数の 信号が 検知される とその 結果を 配 位 する 配 位 回路 で ある。

次に上記回路の動作を説明する。

各光原  $1_1 \sim 1_n$  には、各変調器  $4_1 \sim 4_n$  によってそれぞれ異なる周波数  $t_1 \sim t_n$  で変調された 可圧が印加されるので、各光原  $1_1 \sim 1_n$  からの拡散光はそれぞれ異なる周波数  $t_1 \sim t_n$  で輝

また前 3 図に示す如く複数の光源 1, ~ 1n を 平面 4 に格子状に配置し、複数の受光器 2, ~ 2n を前記平面 4 と平行な平面 B に光源 1, ~ 1n に それぞれ対向させて配配すれば被測定物 W の平面 4、 B に平行な平面形状を測定できる。

以上説明したように本発明では拡散光源を異なる周波数で点灯し、各受光器の受光信号を帯域フィルタによつて各周波数どとに取り出すようにしたので、 複数の拡散光源を接近して設けても対をなす光顔からの受光を弁別することができる。

## 4. 図面の簡単な説明

第1図は光源が接近した場合を示す図、第2図 は本発明の一次施例を示す回路図、第3図は平面 形状判断のための光質及び受光器の配置を示す射 祝図である。

11~1n…拡散光源、 21~2n…受光器、 31~3n…発振器、 41~4n…変胸器、 51~5n…葡萄フィルタ、 61~6n…検放回路、 71~7n…記憶回路。

特閲昭60- 57210(2)

度が変化する。従つて受光器からの受光信号は輝度の変化に応じて変動する交流信号となる。一つの受光器には拡散光のため、被測定物甲によつて 遊られない限り、対をなす光原の他に複数の光源 からの光も同時に受光する。

しかして、各受光器  $2_1 \sim 2_n$  からの各受光信号はそれぞれ符録フィルタ  $5_1 \sim 5_n$  に入力するので、それぞれ  $s_1 \sim s_n$  付近の周波数の分が選択通過する。とのため例えば受光器  $2_1$  からの受光信号では対をなす光源  $1_1$  以外からの光は無視され、対をなす光源  $1_1$  からの光による受光信号の分が透択される。各帯域フィルタ  $5_1 \sim 5_n$  の出力信号は検波回路  $6_1 \sim 6_n$  で検放され、対をなす光源からの受光が検知されれば記憶回路  $7_1 \sim 7_n$  に配憶される。

上配の如く拡散光顔を接近して散けても、受光器では対をなす光原からの受光を弁別できるので、 光原及び受光器を第2図の如く直顧方向に配置すれば光顔と受光器制に同一直線方向に置いた物体の長さを測定できる。

## 特開昭60- 57210(3)

